

令和4年度事業報告書

新型コロナウイルス感染症のパンデミックはようやく沈静化しつつあるものの、この3年余りの間に、日本および世界の社会経済構造を一変させるほどの深刻な影響を与えた。これに加えロシアによるウクライナ侵攻や、急激な円安の影響による、エネルギー価格をはじめとする物価上昇は依然として沈静化の気配が見えず、畜産業界にあっては飼料や資材の高騰により、生産コストが大幅に増加するとともに、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜衛生上の重大な問題も続発するなど、経営環境は益々厳しさを増しているところである。

このような状況を踏まえ、会員その他関係機関と連携を図りながら、下記の通り、緊急対策を含めた国・県の制度を最大限活用し、各種経営支援策や家畜防疫対策および畜産関係団体の活動支援等に取り組むことによって、近江牛をはじめ、滋賀の畜産物の安定生産を後押しし、本県の畜産振興に努めたところである。

- (1) 肉用子牛の安定生産を図るための肉用子牛生産者補給金制度事業では、第2四半期に乳用種で発動があり、2頭に対し29,000円の生産者補給金を交付した。
- (2) 肥育牛のセーフティネット対策である肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け枝肉価格が下落したため、肉専用種1,416頭、交雑種1,297頭および乳用種82頭の合計2,795頭に対し100,147,850円の交付金を交付した。
- (3) 近江牛等助成事業では、生産者団体が主催する研修会および優秀農家表彰等に645,938円の支援を行った。
- (4) 近江牛の地理的表示保護制度(GI)に係る登録生産者団体として、78牧場を指定・登録し、飼養管理の確認を行うとともに、GI近江牛の出荷確認を行い、8,075頭に対し確認票を交付した。また、関係団体との連携により「おうみにくの日キャンペーン」を実施するなど、消費者や流通業者に対してGI近江牛の周知PRを行った。
- (5) 耕畜連携により地域が一体となり策定した畜産クラスター計画に基づく「畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業」(機械導入事業リース方式・購入方式)では県窓口団体として、4地域クラスター協議会に対して、飼料収穫調製用機械や堆肥調製散布機械など47機械装置に係る補助金103,148千円の支援を行った。
- (6) 酪農・肉牛経営農家を対象に労働負担軽減や省力化を進める「畜産経営体生産性向上対策事業」(ICT化等機械装置等導入事業)では1経営体に対し、自動給餌装置に係る補助金1,568,500円の支援を行った。
- (7) 肉牛経営者等が連携して策定した繁殖雌牛増頭計画達成のため、「生産基盤拡大加速化事業」により繁殖雌牛31頭の増頭を図り、8経営体に対し7,129,300円の支援を行った。
- (8) 酪農経営安定対策として、滋賀県酪農ヘルパー組合(事務局：全農県本部)に対し、へ

ルパー利用拡大および要員の確保等に1,407,766円の支援を行った。

(9) 畜産経営の基本となる家畜の生産能力の向上を図るため、乳用牛の登録237頭、和牛の基本登録198頭ならびに子牛登記1,562頭を行うとともに、凍結精液供給事業として、黒毛和種6,144本、乳用種689本、計6,833本を供給配布した。

また、第12回全国和牛能力共進会の肉牛の部に2頭、種牛の部特別区に1頭出品参加し、ともに優等賞を受賞した。

(10) 家畜生産農場清浄化支援対策事業として、牛伝染性リンパ腫対策を畜産・酪農経営農家に対し働きかけ、5農場を対象に実施した。また、アカバネ病やアイノウイルス感染症およびチュウザン病による損耗防止事業として、滋賀県農業共済組合に3,578頭の予防注射業務を委託し、二つの事業で2,680,973円の支援を実施した。また、BSE死亡牛処理経費の農家負担軽減のため、支援を行った。

(11) 畜産関係団体(滋賀県乳用牛群検定組合、「おうみ」和牛繁殖協議会、滋賀県養豚推進協議会、滋賀県養鶏協会および近江しゃも普及推進協議会)の事務局業務を受託し、その活動を支援した。

事業・会計体系総括

1 法人運営管理

- (1) 監査会・理事会・総会の開催
- (2) 県機関・畜産関係団体との協力調整
- (3) 会員の異動管理
- (4) 役職員の異動管理
- (5) 特別運用基金、運営特別基金、運営基金および外部出資金の管理

2 近江牛等子牛生産安定対策

公益事業継続 1

肉用子牛生産者補給金制度やその他の関連助成事業により、経営の安定を図った。

(1) 肉用子牛生産者補給金制度事業（機構・補助）

〔生産者補給金 29,000円〕

〔生産者積立補助金 1,550,200円〕

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構・補助）

〔制度適正化事業費 4,439,599円〕

〔運営体制支援事業費 5,362,032円〕

(3) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構・公募）

〔事業費 215,176円〕

3 近江牛等肥育経営安定対策

公益事業継続 2

肉用牛の価格補てん事業やその他の関連助成事業により、経営の安定を図った。

- (1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構・補助） [事業費 100,147,850 円]
- (2) 肉用牛肥育経営安定交付金緊急補てん事業（近江八幡市・補助）
[事業費 1,738,159 円]
- (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度推進事業（機構・委託） [事業費 7,894,322 円]
- (4) 近江牛等助成事業（会単独） [事業費 645,938 円]

4 生産振興経営対策

公益事業継続 3

畜産経営の安定および生産性の向上を図るために、計画的な機械・装置の導入や経営診断等に基づく、生産・技術改善支援を行った。

- (1) 畜産経営技術改善促進事業（県・補助） [事業費 4,500,000 円]
- (2) 近江牛地理的表示保護制度運用事業（県・補助） [事業費 8,999,771 円]
- (3) 畜産振興補助事業（地全協・公募） [事業費 9,413,849 円]
- (4) 肉豚経営安定対策事業（契約者・受託） [事業費 238,500 円]
- (5) 畜産特別資金推進指導事業（中畜・補助） [事業費 755,087 円]
- (6) 畜産生産基盤育成強化事業（県・受託） [事業費 1,651,983 円]
- (7) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（中畜・受託） [事業費 1,676,187 円]
- (8) 畜産クラスター全国実態調査事業（中畜・受託） [事業費 80,690 円]
- (9) 畜産経営体生産性向上対策事業（中畜・受託） [事業費 616,681 円]
- (10) 畜産関係団体調整機能強化事業（中畜・受託） [事業費 2,155,573 円]
- (11) 貸付事業指導等委託事業（近代化リース協会・受託） [事業費 165,000 円]
- (12) 生産基盤拡大加速化事業（全国肉用牛・受託） [事業費 581,874 円]
- (13) 「近江牛」グランプリ枝肉共進会事業（会単独） [事業費 873,018 円]

5 酪農ヘルパー対策

公益事業継続 4

ゆとりある酪農経営を確立するため、酪農ヘルパー利用組合が行うヘルパー事業の円滑な推進やヘルパー要員の確保・育成を支援した。

- (1) 酪農経営安定化対策補完事業（機構・補助） [事業費 1,407,766 円]

(2) 酪農経営安定化支援ヘルパー事業 (酪農ヘルパー協会・受託) [事業費 34,070 円]

6 家畜改良対策

公益事業継続 5

家畜改良の増進を図るため、家畜登録事業(乳牛・和牛)を実施するとともに、牛凍結精液の配布等を行った。

(1) 家畜登録事業 乳牛・和牛 (日ホル、全和・受託) [事業費 10,142,050 円]

(2) 全国和牛能力共進会事業 [事業費 3,282,195 円]

(3) 家畜凍結精液供給事業(会単独) [事業費 36,548,501 円]

(4) ゲノミック検査事業(会単独) [事業費 1,472,570 円]

7 家畜防疫体制確保対策

公益事業継続 6

安全・安心な畜産物を生産・提供するため家畜疾病防疫対策や家畜衛生指導等を行った。

(1) 特定疾病損耗防止事業(会単独) [事業費 1,431,200 円]

(2) 家畜生産農場清浄化支援対策事業(農水省・公募) [事業費 8,370,269 円]

(3) 家畜防疫互助基金造成等支援事業(機構・補助) [事業費 372,718 円]

(4) 牛疾病検査円滑化推進事業(農水省・公募) [事業費 560,704 円]

(5) 家畜防疫・衛生指導対策事業(中畜・受託) [事業費 2,613,498 円]

8 その他(畜産生産団体の活動支援対策)

畜産関係任意団体(5団体)の活動を支援し、県内畜産の振興に努めた。

畜産関係団体の事務受託 [事業費 4,140,016 円]